

公益財団法人日本食品化学研究振興財団
令和5年度助成決定について

公益財団法人日本食品化学研究振興財団（理事長 清水 康弘）は、次のとおり令和5年度助成金交付対象者（所属・職名は申請時）を決定しましたのでお知らせいたします。

研究助成採択件数および金額

一般研究	7件	計	710万円
課題研究	7件	計	790万円
合計	14件		1,500万円

前期シンポジウム開催等助成件数および金額

2件	計	105万円
----	---	-------

後期シンポジウム開催等助成件数および金額

1件	計	37.5万円
----	---	--------

○一般研究

1. 線虫の多層化オミクス解析を用いた食品添加物の安全性評価
（立命館大学 薬学部 助教 坂口 裕子）
2. 食品添加物「乳酸」の新たな視点
～乳酸の経口摂取、運動併用による認知機能低下予防作用の解明～
（中部大学 応用生物学部 教授 津田 孝範）
3. 食品中の残留高極性農薬の半自動同時分析法の開発に関する研究
（星薬科大学 教授 亀山 浩）
4. 適切な健康影響評価系の構築を目指した、経口曝露後の銀ナノ粒子の存在様式変化を踏まえた体内動態解析
（和歌山県立医科大学 薬学部 教授 長野 一也）
5. pHによる紅茶の色調変化機構の解析
（長崎大学 生命医科学域 助教 松尾 洋介）

6. 固相マイクロ抽出法を用いた加工食品中のフラン及びその類縁体の分析法の開発
(国立医薬品食品衛生研究所 食品部 部長 堤 智昭)
7. 天然由来糖類似甘味成分イミノ糖の新たな供給法としての酵素処理法の研究
(岐阜薬科大学 助教 高須 蒼生)

○課題研究

1. 胚環境操作マウスおよび難消化性オリゴ糖を用いた食品添加物の安全性・有効性の評価系構築
(山梨大学大学院 総合研究部 助教 石山 詩織)
2. 既存添加物収載タンニン（抽出物）の機能性代謝物の探索
(岡山県立大学 保健福祉学部 教授 伊東 秀之)
3. 食品香料成分フェネチルアミンの体内動態および新規効能の解析
(東北大学大学院 薬学研究科 助教 平田 祐介)
4. ヒアルロン酸オリゴ糖の簡易微量定量法の確立と体内動態特性の解析
(北海道大学大学院 薬学研究院 講師 佐藤 夕紀)
5. デュアルスプリットバイオセンサーを活用した胎盤形成に不可欠な栄養膜細胞の分化・融合に対する食品添加物の作用評価
(東京薬科大学 准教授 吉江 幹浩)
6. 体内動態を考慮したミリシトリン含有ヤマモモシクロデキストリン包接体の生体調節機能について
(神戸大学大学院 農学研究科 教授 芦田 均)
7. ビタミン系酸化防止剤が脳血管糖衣に及ぼす影響と効果に関する研究
(東京理科大学 薬学部 助教 米野 雅大)

○（前期）シンポジウム開催等助成

1. 日本食品化学学会
第29回総会・学術大会
2. 日本食品衛生学会
2023年度 日本食品衛生学会 公開シンポジウム
「食中毒の季節にそなえる」

○（後期）シンポジウム開催等助成

1. 日本毒性病理学会
第40回日本毒性病理学会総会及び学術集会
「我々はもうなんでも知っているのか？ まだまだ広がる病理の世界」